

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2019年8月1日～2019年8月7日)

令和元年(2019年)8月9日

H E A D L I N E S	
<p>政治 ワルシャワ蜂起75周年式典の開催 ドゥダ大統領, 第二次世界大戦博物館分館の建設に関する特別法に署名 クフチンスキ下院議長の辞任表明 ドゥダ大統領, 議会選挙実施日を決定 民主左翼連合の党名略称変更 マース独外相のポーランド訪問 ポーランド外務省, 本年2月のワルシャワでの中東会議に関し, 各作業部会の主催国及び日時を発表 シュテルスキ大統領室長, ドゥダ大統領の就任以来4年間の外交政策を総括 アンジェイチャク統合参謀長のラトビア訪問 シュテルスキ大統領室長, フォン・デア・ライエン次期欧州委員長と会談 ドイツ連邦軍領域任務部隊司令官のポーランド訪問</p>	
<p>治安等 ワルシャワ蜂起記念デモ行進で発生した衝突 クラクフのショッピングセンターにおけるチェチェン人らの大量拘束 議会等を標的とした爆弾テロを計画した人物の獄死 アドルフ・ヒトラーの生誕記念集会を開催した極右団体への解散命令 ワルシャワ市内で発生した外国人による車上荒らし事件 イラン人による密入国未遂事案</p>	
<p>経済 ドゥダ大統領, 簡易株式会社(PSA)法案に署名 7月の購買担当者景気指数(PMI) ポーランドの人口推計 労働許可証に関する最高監査院(NIK)報告 ポーランドの外国人労働者の動向 5Gに関する動向 鉄道利用者の増加 食品廃棄物対策動向 国家エネルギー戦略に係る動向 電力源転換に係る費用 原子力法改正案への大統領署名 ホルムズ海峡における緊張の高まりがエネルギー戦略に与える影響</p>	
<p>大使館からのお知らせ 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 犠牲祭(イスラム教の祝日)期間に伴う注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い 国際機関への就職に関心がある皆様へ 大使館広報文化センター開館時間文化行事・大使館関連行事 読者からのお知らせ</p>	
<p>在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>	

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。問合せ先:大使館領事部 電話:2 6 9 6 5 0 0 5 Fax 5 0 0 6 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

ワルシャワ蜂起75周年式典の開催【1日】

1日、ワルシャワ蜂起開始75周年を迎え、国内各地で記念式典が開催された。ワルシャワでは、ドゥダ大統領、モラヴィエツキ首相をはじめとする閣僚、国会議員、ワルシャワ市高官等が参加し、ポボンスキ墓地の記念碑前で蜂起参加者を追悼した。

ドゥダ大統領、第二次世界大戦博物館分館の建設に関する特別法に署名【1日】

2日、大統領府は、プレスリリースにて、ドゥダ大統領が1日に第二次世界大戦博物館分館の建設に関する特別法に署名したと発表した。同法案では、1939年のドイツによるポーランド侵攻で最初の戦闘が行われた、ヴェステルプラッテの土地を政府の所有とし、同土地にグダンスク市内に所在する第二次世界大戦博物館の分館を設立するとしている。

クフチンスキ下院議長の辞任表明【5日、8日】

5日、クフチンスキ下院議長は、政府専用機使用をめぐる問題に関する記者会見を行い、全ての専用機使用及び家族の同乗は法律に沿ったものであると強調し、一方、本件への世論の批判的な評価について理解しており、不快感を与えた全ての人々に謝罪する旨述べた。

8日、同下院議長は、記者会見にて、翌9日に下院議長職を辞任する意向を表明した。カチンスキ「法

と正義」(PiS)党首は、同下院議長は法や慣習に背いてはいないと強調した。また、同党首は、トウスク元首相(現欧州理事会議長)は6年10か月の任期中に、(同元首相の地元である)グダンスクに専用機で281回移動しており、客観性の観点から、記者が同事実にも同様の関心を向け、真剣に取り組むことを期待する旨述べた。

ドゥダ大統領、議会選挙実施日を決定【6日】

6日、スピハルスキ大統領府報道官は、ドゥダ大統領が、本年議会選挙(上下両院)実施日を10月13日(日)とする大統領令に署名したと発表した。同大統領令は5日以内に官報に掲載され、掲載日より各党による選挙運動が正式に開始される。

民主左翼連合の党名略称変更【6日】

6日、民主左翼連合(Sojusz Lewicy Demokratycznej、国会には現在議席なし)のジュコフスカ報道官は、同党の略称を現在の「SLD」から「Lewica」(左派の意)に変更する旨発表した。同党は、今秋の議会選挙にて「春」(Wiosna)や「左派と共に」等の左派勢力との選挙協力に合意しており、今次党名略称変更は、「Lewica」の名称の下で左派勢力が一つの候補者リストを作成し、下院選挙において選挙連立がクリアすべき8%の足切りラインではなく、単独政党の5%を適応させるねらいがある。

外交・安全保障

マース独外相のポーランド訪問【1日】

1日、チャプトヴィチ外相及びマース独外相は、ワルシャワ蜂起博物館で行われた同蜂起勃発75周年記念式典に出席した。チャプトヴィチ外相は、同蜂起の犠牲者数は、民間人が少なくとも15万人、国内軍兵士が2万人と推定され、約55万人がワルシャワを追われ、そのうち約15万人が収容所での労働を強制され、ワルシャワは85%が破壊されたと述べた。さらに、これまで破壊した者によって損害が補償されたことはないと強調し、ポーランド人は、自身の労働及び努力によってワルシャワを再建したのであり、それが戦争賠償問題を解決済みと見ることができない明確な理由であると述べた。マース独外相は、ドイツは残虐行為に対する責任があり、ワルシャワの破壊は、ポーランドのアイデンティティに資する全てを破壊するための意図的な打撃であった旨強調した上で、死傷した家族及びポーランド国民に許しを請いたいとし、ドイツの名の下にドイツ人がポーランドに対して行った行為を恥じると述べた。

ポーランド外務省、本年2月のワルシャワでの中東会議に関し、各作業部会の主催国及び日時を発表【5日】

5日、チャプトヴィチ外相は、来年、ワシントンで開催される中東会議において、本年2月のワルシャワでの同会議の成果として設置された作業部会の活動を総括するとし、各作業の目標は地域全体の安全保障に係わる当面の(initial)決定を準備することであると述べた。同日、ポーランド外務省は、①韓国がサイバーセキュリティ(10月7-8日)、②米国が人権(同10-11日)、③バーレーンが海洋・航空安全保障(同21-22日)、④ポーランドがエネルギー安全保障(同24-25日)、⑤ルーマニアがミサイル拡散(11月14-15日)に関する作業部会を主催すると発表した。

シュチエルスキ大統領室長、ドゥダ大統領の就任以来4年間の外交政策を総括【5日】

5日、シュチエルスキ大統領室長は、ドゥダ大統領の就任以来4年間の外交政策の最重要課題について

て、米国及びNATOとの関係に依拠した大西洋両岸関係、及び地域協力の発展としてブカレスト9及び三海域協力を挙げた他、国連安全保障理事会における活動、対外的な歴史政策も大統領の活動の重要な要素であると述べた。

アンジェイチャク統合参謀長のラトビア訪問【5-6日】

5-6日、アンジェイチャク統合参謀長は、ラトビアを訪問し、ラトビア軍パブリック参謀長を表敬した。パブリック参謀長とは、軍事協力、国防産業及びNATOとの連携並びに東欧地域の安全保障等について意見交換が行われた。また、同統合参謀長は、アダズィ基地に展開しているポーランド軍部隊を訪問し、意見交換が行われた。

シュチェルスキ大統領室長、フォン・デア・ライエン次

期欧州委員長と会談【7日】

7日、シュチェルスキ大統領室長(ポーランドの次期欧州委員候補)はブリュッセルを訪問し、フォン・デア・ライエン次期欧州委員長と、将来における欧州委との協力及び同委の構成に関する計画について協議したと述べたが詳細への言及は避けた。

ドイツ連邦軍領域任務部隊司令官のポーランド訪問【7日】

7日、ブリュワー・ドイツ連邦軍領域任務司令官がルブリンに所在する第2領域防衛旅団を訪問し、ポーランドの領域防衛軍の非常事態時の機能及び教訓等について意見交換が行われた。また、危機時において現地自治体を支援する同旅団の装備品展示が行われた。なお、本訪問においては、地元自治体当局の代表及びルブリンの国家消防部隊のメンバーが出席した。

治 安 等

ワルシャワ蜂起記念デモ行進で発生した衝突【1日】

1日夕方、ワルシャワで、右派系団体等が参加する第8回ワルシャワ蜂起記念デモ行進が実施された。参加者は「神、誇り、祖国」スローガンを叫びながら、市内中心部に所在するワルシャワ蜂起記念碑の周辺を行進した。同デモ行進に対し、左派系団体の活動家数十人がワルシャワ蜂起記念碑前でカウンターデモを実施し、右派活動家らはワルシャワ蜂起を白人ナショナリズム、人種主義、同性愛嫌悪など自らのイデオロギー誇示に利用しているなどと主張したほか、ワルシャワ蜂起を実行した国内軍(AK)のシンボルであるいかりの紋章をLGBT機会平等運動の象徴である虹色の旗にかたどった大型バナーを記念碑周辺に掲げるなどして抗議した。今次デモ行進は、事前の法的手続きに従って実施されたものであったことから、警察は、カウンターデモ参加者に解散するよう呼びかけたが、同参加者がこれに従わなかったことから、身柄を拘束して強制排除した。本件に関し、デモ行進主催者は、左派活動家による挑発行為が多数あったものの、行進は滞りなく終了したと述べた。

クラクフのショッピングセンターにおけるチェチェン人らの大量拘束【5日】

5日、警察は、クラクフのM1ショッピングセンターでチェチェン人ら約20人を拘束した。拘束されたグループは、ショッピングセンターに集結し、フリーガングループとの私闘を準備していたとされ、被疑者の車両からはナタや斧などの武器や違法薬物が押収されている。

議会等を標的とした爆弾テロを計画した人物の獄死【6日】

刑務局は、下院等への爆弾テロを計画したとして拘束され、ヴロツワフの刑務所で服役していたブルーノン・クフィエチェン受刑囚が本年4月に死亡していた旨公表した。同受刑囚は元大学講師で、ポーランドは外国人に支配されていると主張し、下院への簡易爆発物(IED)設置を計画したとして2012年に公安庁(ABW)に逮捕されており、銃器、防弾ベスト、防弾ヘルメット、偽造ナンバープレートなども所持していたほか、同様の政治観を持つ人物を計画に勧誘していたとされる。検察は、同受刑囚の死因を病死と発表しており、事件性はないとしている。

アドルフ・ヒトラーの生誕記念集会を開催した極右団体への解散命令【7日】

グリヴィツェ地方裁判所は、2017年5月にアドルフ・ヒトラーの生誕記念集会を開催したとされる極右団体「誇りと近代」(Duma i Nowoczesnosc)に対し、全体主義を賞賛し、違法行為を行ったとして解散命令を下した。「誇りと近代」は、同記念集会について、ジャーナリストの「監督」のもと実施・録画されたと主張しており、同命令を不服として上告した。

ワルシャワ市内で発生した外国人による車上荒らし事件【7日】

警察は、ワルシャワ北部の地下駐車場に駐車中の車両に侵入し、車内から現金の入ったブリーフケースを盗みだしたとしてジョージア人男性を拘束した。盗難されたブリーフケースには、現金10万ユーロ、2万5,000ズロチの他、クレジットカード、携帯電話、事務所の鍵等も納められていたとされる。警察は現場の調査等から、ワルシャワ郊外のゾンプキに居住するジョージア人男性を被疑者として割り出し、同人の住居付近で職務質問を行ったところ、同人は警

察官をナイフで切りつけ逃亡を計ったほか、拘束された際も警察官に賄賂を持ちかけ、見逃すよう働きかけたとされる。被疑者には10年以下の自由剥奪が課せられる見込み。

7日、国境警備隊は、ワルシャワ・モドリノ空港で、偽造文書や盗難したブルガリアの身分証を使用して密入国を試みたイラン人を拘束した。同人は、アテネからワルシャワに航空便で渡航しており、偽造書類等について、兄弟の住むギリシアで3,000ユーロで購入したと供述している。

イラン人による密入国未遂事案【8日】

経 済
経済政策

ドゥダ大統領、簡易株式会社(PSA)法案に署名【2日】

2日、ドゥダ大統領は、簡易株式会社(PSA)法案に署名した。PSAは有限責任会社と株式会社の中間のような形態の会社で、資本金1ズロチから、

電子登録により24時間以内の設立が可能となる。本法案は、企業・技術省による「企業のための100の変革」パッケージの一つで、スタートアップ企業の設立促進や競争力強化を狙っている。同法案は2020年3月に施行予定。

マクロ経済動向・統計

7月の購買担当者景気指数(PMI)【1日】

IHS Markitによると、7月の購買担当者景気指数(PMI)は、47.4ポイントとなり、前月の48.4ポイントより減退し、2013年4月以来の低水準を記録した。新規受注の減少ペースが強まったことなどが影響した。

ている(2040年には死亡数が44万人に達する見込み)。

ポーランドの人口推計【1日】

中央統計局(GUS)の報告書によると、2018年末のポーランドの人口は約3,841万人で、対前年比2万2,400人減少した。報告書は、今後25年間で人口は約280万人減少すると予測しており、その主な要因は1950年代後半のベビーブーム世代の高齢化による死亡数の増加によるものとされ

労働許可証に関する最高監査院(NIK)報告【7日】

最高監査院(NIK)の報告書によると、外国人への滞在・労働許可証の申請件数の増加に伴い、各件事務所の順番待ち列が更に長くなってきているとされる。許可証発給に要する期間は、5年前は平均64日であったのに対し、現在では平均206日となっている。これにより、雇用主が投資を中断するケースや行政裁判所に申し立てを行う事例(2018年は101件)が発生している。NIKは、労働許可証発給の遅延はインフォーマル経済の増加、ひいては税収の減少に繋がる可能性があるとして強調した。

ポーランド産業動向

ポーランドの外国人労働者の動向【1日】

家族・労働・社会政策省によれば、今年1月から4月の外国人労働許可件数は約10万件となり、前年同期比46%増となった。さらに同時期の労働意欲を持つ外国人の登録者数も57万件以上となり、こちらも前年同期比23%増となった。

鉄道利用者の増加【5日】

ポーランド国鉄(PKP Intercity)によれば、2019年の1月から6月までの国鉄利用者は前年同期比130万人増となり、2009年以来最高数となった。人気のある区間としては、ワルシャワ・クラクフ間及びワルシャワ・グダンスク間が挙げられている。

5Gに関する動向【2日～5日】

ブク・デジタル省副大臣は、5G導入に関して当初予定通り遅滞なく実施すると述べた。電気通信庁(UKE)は、2020年半ばまでに700MHzの通信割当を実施できるように入札を行う。2025年までに全市街地で5G利用が可能となる予定。

食品廃棄物対策動向【5日】

下院及び上院は、250m²以上の面積を有し売上の半分以上を食品が占める全店舗に対し、売れ残り食品の非政府組織への譲渡を義務づける法案を承認した。ポーランド人は、平均して年間235キログラムの食品を廃棄しているの見積もられており、国全体では900万トンにのぼる。

エネルギー・環境

国家エネルギー戦略に係る動向【1日】

ジェンイク・ガゼタ・プラヴナ紙は、2040年までの国家エネルギー戦略(PEP2040)に関し、7月に施行される予定であったが、今秋の議会選挙まで施行準備が整わない見込みと報じた。同紙は、①エネルギー省の電力価格補助法施行への注力、②2034年までの原発稼働見直しの困難、③EU規制による温室効果ガス削減投資の追加が増加予測等を遅延理由に挙げた。

電力源転換に係る費用【5日】

ポーランド電気協会(PKEE)は、2020年から2045年の期間に、国内エネルギー転換に必要な費用は、約1兆ズロチ(2,150万ユーロ)となると発表した。また、国内4大電力企業(PGE, Tauron, Energa, ENEA)は、送配電線の延長に1,500億ズロチ規模の投資を要するとも指摘した。これに関し、専門家は、国内の電力源転換の遅延や予算規模変更の可能性があると指摘した。

原子力法改正案への大統領署名【5日】

ドゥダ大統領は、核及び放射線防護の安全性を高めることを目的とした原子力法改正案(環境省起草)に署名した。同改正案は、最高水準の安全及び放射能防護を目的に、EU規制と国際基準に沿って修正されており、国内世論の原子力発電開発への信頼性の向上にも資すると見られている。

ホルムズ海峡における緊張の高まりがエネルギー戦略に与える影響【6日】

ナウムスキエネルギー戦略インフラ委員は、ホルムズ海峡の緊張高まりを受け、エネルギー調達先多様化の重要性を示唆した。グローバルチク海事経済・河川交通大臣も、同地域のエネルギー安全保障環境の悪化を指摘した。ポーランドはカタールからLNGを調達しており、継続を優先する立場を取っている。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

(注):シェンゲン協定とは、シェンゲン協定加盟国の域外から同加盟国域内に入る場合、最初に入域する国において入国審査が行われ、その後のシェンゲン協定域内の移動においては原則として入国審査が行われなかった協定です。

○シェンゲン協定域内国(2019年7月現在):26か国

アイスランド、イタリア、エストニア、オーストリア、オランダ、ギリシア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、マルタ、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、リヒテンシュタイン

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)の台頭以降、一般市民等のソフトターゲットを標的としたテロが相次いで発生しており、今後も更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1)外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

犠牲祭(イスラム教の祝日)期間に伴う注意喚起

8月11日(日)から8月14日(水)頃(国・地域によって前後する可能性があります)までは、イスラム教の犠牲祭(イード・アル＝アドハー、一部の地域ではクルバンやタバスキとも言われます)に当たります。現在のところ、犠牲祭に際してテロの実行を呼びかける声明などは確認されていませんが、犠牲祭期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、大規模行事はテロ等の標的となり易いことに留意してください。

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

国際機関への就職に関心がある皆様へ

在ポーランド日本国大使館では、国際機関への就職に関心がある日本人の方を対象に、外務省国際機関人事センター作成の資料を配付しています。御希望の方は、大使館広報文化センターへお問い合わせください。

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

文化行事・大使館関連行事

【予定】欧州相撲選手権大会・国際ポーランド相撲選手権 Poland Open 2019・ポーランド相撲連盟 15周年【8月9日(金)～10日(土)】

クロトシンにて、ポーランド相撲連盟主催による『欧州相撲選手権大会・国際ポーランド相撲選手権 Poland Open 2019・ポーランド相撲連盟 15周年』が開催されます。

開催場所: クロトシン, クロトシン市立公園

詳細: <http://www.pzsumo.org/>

【予定】第15回国際音楽祭「ショパンと彼のヨーロッパ」【8月9日(金)～10日(土)】

ワルシャワにて、国立シヨパン研究所主催による『第15回国際音楽祭「シヨパンと彼のヨーロッパ」』が開催されます。シヨパン、モーツァルトやバッハのコンサートの他、8月17日(土)および18日(日)20時に広島交響楽団によるコンサートが予定されています。

開催場所:ワルシャワ, Filharmonia Narodowa, ul. Sienkiewicza 10

詳細:<https://festiwal.nifc.pl/en/2019/>

【予定】日本文化祭「夏」【8月23日(金)~24日(土)】

ノヴェ・ミアスト・ルバヴスキエにて、ノヴェ・ミアスト・ルバヴスキエ市文化センター所属の青年グループ主催による『日本文化祭「夏」』が開催されます。演劇「妖怪」と「桃太郎」、日本料理ワークショップ、漫画デモンストレーション、茶道の紹介、書道・折り紙ワークショップ、コスプレなどが予定されています。

開催場所:ノヴェ・ミアスト・ルバヴスキエ, バラ庭園(Ogród Róż)

詳細:<https://www.facebook.com/Przetw%C3%B3rnia-San-Przystanek-Japonia-377422962838929/>

【予定】V4+JAPAN交流展 美は国境を越えて【8月26日(月)~10月31日(木)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにおいて、日本、チェコ、ハンガリー、ポーランド作家による交流展が開催されます。入場は無料です。

開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール:info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所:Al. Ujazdowskie 51(4階), Warszawa)

読者からのお知らせ

【予定】コンサートの御案内

演奏者:

Arielle Beck (France), Naomi Yamaguchi (USA, Japan), Kevin Jansson (Ireland) and the director of Magdalena Hirsz (Poland)

日程及び開催場所:

8月13日 Pan Tadeusz Museum, Wrocław

8月15日 5pm, Chopin Point Warsaw,
Krakowskie Przedmieście 62, Warsaw 00-322

8月16日(12pm & 2pm), 17日(3pm), Dom Urodzenia Fryderyka Chopina
Żelazowa Wola 15, 96-503 Sochaczew

<https://muzeum.nifc.pl/pl/muzeum/wizyta-informacje-miejsce>

Facebook

<https://www.facebook.com/events/439673596586016/>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス (newsmail@wr.mofa.go.jp)